

2008年 イタリア・アカデミー賞 4部門受賞

<ダヴィッド・ディ・ナテロ賞>

# 副王族の一族

19世紀半ば、イタリア統一前夜のシチリア  
激動の時代を生き抜く名門貴族の栄華と悲哀を綴る華麗なる一大叙事詩

滅びゆくもの  
生まれるもの  
そしてなお、生き続けるもの

## Il Vicere



JEAN VIGO ITALIA E RAI CINEMA PRESENTANO CON LA PARTECIPAZIONE DI INSTITUT DEL CINEMA CATALA E VIP MEDIENFONDS 2 IN ASSOCIAZIONE CON RIBISI STAR "I VICERE"  
ALESSANDRO PREZIOSI LANDO BUZZANCA CRISTIANA CAPOTONDI GUIDO CAPRINO ASSUMPTA SERNA SEBASTIANO LO MONACO BIAGIO PELLIGRA FRANCO BRIANCARDI E LUCIA ROSE  
SCENEGGIATURA DI FRANCESCO BRUNI FILIPPO GENTILI ANDREA PORPORATI ROBERTO FAENZA PRODUTTORE ESECUTIVO GIULIO CESTARI LINE PRODUCER ALESSANDRO CALOCCHI MUSICHE DI PAOLO BUONVINO FONICO BRUNO PUPPARO(AITS)  
SCENOGRAFIA E ARREDAMENTO FRANCESCO FRIGERI MONTAGGIO MASSIMO FICCHI COSTUMI MILENA CANONERO DIRETTORE DELLA FOTOGRAFIA MAURIZIO CALVESI(AIC)  
PRODOTTO DA ELDA FERRI UNA PRODUZIONE JEAN VIGO ITALIA IN COLLABORAZIONE CON RAI CINEMA DIRETTO DA ROBERTO FAENZA



監督・脚本:ロベルト・ファエンツァ「舞の中のゾナ」 原作:フェデリコ・デ・ロベルト「副王たち」(1894年)  
出演:アレックスandro・ブレツイオージ、ランド・フツァンカ、クリスティーナ・カポトンディ、クイド・カプリーノ  
2007年/イタリア・スペイン/イタリア語/35mm/カラー/126分/シネマスコープ/ドルビー-SRD/原題:Il Vicere  
後援:イタリア大使館 特別協カ:イタリア文化会館 協カ:イタリア政府観光局(ENIT)、アリアアイタリア航空 Alitalia  
配給・宣伝:アルシネテラン alcine-terran.com/ichizoku

新しい時代を生きるために、

父は権力を、息子は自由を、  
娘は愛を求めた！



本作を観て、思い浮かぶのは、ヴィスコンティの名作「山猫」である。  
カタリーニャの貴族とパレルモの貴族という違いはあるものの、  
どちらもシチリアの公爵家であり、時代の転換期における貴族の一家に焦点を当てている。  
いわば「副王家の一族」は、もうひとつの「山猫」と言える。  
——柳澤一博（「ヴィスコンティを求めて」著者）——

19世紀半ばのシチリアー。パリとウィーンの社交界がそうであるように、ここでもまた、華やかな貴族文化が栄えていた。  
豪華な建物の中で夜ごと催される舞踏会。扇を手に美しいドレスで身を包み、髪を豪華に飾り立てる女性たち。  
しかし、新しい時代の波は彼らを飲み込むかのように、すぐそこまでやってきていた。

原作は20世紀文学の名作「山猫」に影響を与えたとされる、フェデリコ・デ・ロベルトの「副王たち（I vicerè）」。「王朝を後ろ盾とし、貴族として栄華を誇るウゼガ家が、父子の確執、権力争い、身分違いの恋など、様々な問題を抱えながらも、激動の時代をまたがって美しく生き抜く姿を描く華麗なる一大叙事詩である。イタリアが統一され近代国家へと変貌を遂げる中、新しい時代を変わらずに生き続けるために必要なものは、権力か、自由か、それとも愛なのか？葛藤する一族の姿が、現代を生きる我々に普遍的な問いを投げかける。監督はイタリアのネオ・レジスタ（新しい監督群）の代表格、ロベルト・ファエンツァ。美しいシチリア島を舞台に、シニカルかつ壮麗にひとつの家族の肖像を描きだしていく。さらに、ミレーナ・カノネロ（「マリー・アントワネット」アカデミー賞衣装賞受賞）による豪華な衣装をはじめ、豪華絢爛な映像美が観る者を圧倒する。



人は昔も今も、これからも変わらない。  
誇り高き一族を守るため、大切なものとは――

ブルボン王朝支配下、イタリアへの統一を目前に控えた19世紀半ばのシチリアー。スペイン副王の末裔であり、名門貴族であるウゼガ家では、絶大な権力を持つ極めて封建的な父ジャコモと、嫡男であるコンサルヴォが激しく対立していた。遺産相続の為に父に追放される叔父、母の死を悼むことなく進められる父の再婚、愛する人と引き裂かれ、父のために政略結婚をさせられる妹。そんな自己の利益と意のままに振舞う父に、コンサルヴォは次第に憎悪をつのらせていく。

王政の終焉とともに貴族社会が終わりを告げても、「王の治世にはウゼガ家は王の友、貧民の世には貧民の友」と公言し、新たな時代の中でもまたかか生きるジャコモ。そんな父の生き方を否定しながらも、御書司として一族の枠から逃れられないコンサルヴォ。やがて当主となる彼が、一族を守るため、そして激動の時代にも変わらずに生き残るために選択する道とは――

『副王家の一族』シチリアの主な歴史

1707年	スペイン・ブルボン朝支配下に
1816年	両シチリア王国成立
1859年	イタリア統一戦争開始
1860年	ガリバルディ シチリア占領
1861年	イタリア王国成立

【副王とは】ヨーロッパで国の領土や海外植民地に置かれた、国王代理を務める高位の行政官のこと。18世紀初頭にスペイン・ブルボン家の副王がシチリアを統治しており、本作品に登場するウゼガ家は、その副王家の末裔。

＜ダヴィッド・デイドナテロ賞＞  
イタリア・アカデミー賞 4部門受賞

監督・脚本：ロベルト・ファエンツァ「鯨の中のゾナ」 原作：フェデリコ・デ・ロベルト「副王たち」（1894年） 衣装：ミレーナ・カノネロ「マリー・アントワネット」【夜顔】  
キャスト：アレックスランドロ・プレツィオージ、ランド・ブツツァンカ、クリスティーナ・カボンディ、グイド・カプリーノ 2007年、イタリア・スペイン/イタリア語/35mm/カラー/126分/シネマスコープ/ドルビー-SRD / 原題：I vicerè  
後援：イタリア大使館 特別協力：イタリア文化会館 協力：イタリア政府観光局（ENIT）、アリタリア・イタリア航空 Allitalia 配給・宣伝：アルシネテラン www.alcine-terran.com/ichizoku

晩秋、激動の扉が開く

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中  
【当日¥1,800のところ】  
劇場窓口にてお買い求めのお客様に限り手軽に本物の味が楽しめる“インスタント エスプレッソ”をプレゼント！  
提供：セガフレド・ザネッティ www.segafredo.jp

初日プレゼント  
初日初回ご来場者様全員に、限定数  
厳選素材のイタリアの味、ビスコッティとアマレッティのセットをプレゼント。 提供：こぬれ・広尾

渋谷・東急本店ヨコ  
Bunkamura ル・シネマ  
03-3477-9264 http://www.bunkamura.co.jp  
Bunkamura を変えるオフィシャルサプライヤー  
ONRON 音響機器 KIRIN HITACHI 東急グループ  
定員制・入替制  
お立ち見及び上映開始後の入場はできません。  
前日までに混雑状況をご確認の上、お出かけください。  
火曜サービスデー 毎週火曜は、1,000円でご覧いただけます。

